

●NTTコミュニケーションズ●

広範囲な仕組み作りに基づく、ICTを活用した「安全・安心教育ソリューション」

「安全・安心教育」の広範囲な仕組み作りに注力

子どもが被害者となる痛ましい事件を未然に防ぐため、政府をはじめ自治体・地域社会などが一体となって各種施策を展開している。このようななか、NTTコミュニケーションズ（NTT Com）は、ICTを活用した安全・安心に向けた広範囲な仕組み作りを基軸に取り組んでいる。NTTグループが連携して安全・安心な社会の実現に取り組むことができるモデルを確立するのが狙いだ。

「NTT ComはICTソリューションパートナーとして、ある局面だけをサポートするのではなく、ベースとなるスキーム、モデル作りに注力しています。その具体的な例が、政府が進める『犯罪から子どもを守るための総合対策』の3つの柱（①学校における対策、②地域における対策、③犯罪対策）のうち、学校における防犯教育の推進と地域における諸活動の充実の2つの取組みを支援する、「安全・安心教育ソリューション」で、SDT（スクール・ディフェンス・トレーニング）と、インターネット子ども教室の2つの取組みを実施してきました。」（第二法人営業本部 u-

Japan推進部長 中川忠夫氏)

危機管理のプロと連携し、SDTによるより安全な学校づくりを支援

NTT Comが提供するSDTは、映像を活用して防犯訓練の改善を図る侵入者対応訓練プログラム。危機管理の専門企業（クライシスインテリジェント社）と連携し、防犯教育の現場において、訓練の様子を複数箇所同時に、NTT研究所が開発した高品質小型映像コーデックシステム「ISIL-BOX」をはじめとする最先端のICTを活用して“可視化”し、共有することで、危機管理意識を高め、より安全な学校づくりを支援するというのが大きな特長である。

平成18年5月の「学校安全情報研究会」及び平成19年2月の「第31回全国学校安全教育研究大会」において、SDTを実践し、参加者の方々から以下のような高い評価を得ている。

従来の訓練では不審者との対応場面しか情報として共有できなかった。SDTで



NTTコミュニケーションズ(株)
第二法人営業本部 u-Japan推進部長
中川 忠夫氏

は複数台のLANカメラを校内の主要な場所に設置し、不審者が侵入すると校長室、職員室、子どもたちの居る教室等の様子をリアルタイムで記録、共有し可視化できた。「その時教師はどう動いた」とか、「子どもはどのような様子だった」かを見ることにより、臨場感、緊迫感に基づく「気付き」が多く、記録を振り返ることで正確な情報に基づいた訓練課題の拾い出しができた。



SDT（スクール・ディフェンス・トレーニング）実施風景（一部）

SDTの訓練プログラムをメニュー化し、全国展開を目指す

NTT Comでは、子どもの安全・安心教育に関して文部科学省を中心に政策提言を含めた様々な活動を展開しているが、今後SDTについては訓練プログラムをメニュー化し、全国各地域の教育支援プログラムを通して、NTTグループの安全・安心ソリューションに繋ぐことを目指して積極的に展開していく方針だ。

517箇所の実施実績を誇る「インターネット子ども教室」をASP展開

NTT Comでは、文部科学省が推進した「地域こども教室推進事業」（平成16年度～18年度）の一環で、「子どもメディアフォーラム運営協議会」を（財）全国視聴覚教育連盟と設立。子どもが放課後に学校や公民館・児童館などでインターネットに関する情報モラルや幅広い知識を身につけることや、講師となるボランティアの方々の育成を支援する「インターネット子ども教室」を展開してきた。地域子ども教室推進事業とは、平成16年度から3ヵ年で子どもたちの安全で安心な居場所作り



教室の実践状況

を支援する事業であり、平成19年度からは省庁横断的に文部科学省と厚生労働省が予算化・実施する「放課後子どもプラン」に継承されている。

NTT Comでは延べ517箇所を実施し、子どもたちや保護者、教職員などからも非常に好評だった「インターネット子ども教室」の実績をベースに、NTT Comのコールセンター、データセンター、教育コンテンツ、さらにはカリキュラムや指導案もセットにして、「放課後子どもプラン」の実施主体である各自治体向けに、安価なASPサービスとして提供する。

実績を活かした3つの学習コンテンツをパッケージ化

インターネット子ども教室の学習コンテンツは、今までの実施経験・ノウハウを活かすとともに、現在、子どもを取巻く環境変化の中で社会問題化している課題の中から、インターネット、生活、食の3つの安全について学習することができる以下のパッケージを現在提供している。

・インターネット子ども安全教室

楽しみながら、インターネットの基礎知識・危険性・情報モラル等を学ぶことができる。また講師とのコミュニケーションにより、さらに深く理解できる仕組みになっている。



杉並区立和田小学校の子どもから寄せられた感想



コンテンツの画面例

・子ども生活安全教室

犯罪に巻き込まれないための知識を、体験型のストーリーにより楽しみながら身につけるができる。また、地域防犯マップを作成することで、より現実での危険回避の知識を深めることができる。

・子ども食の安全教室

食に関する知識を身につけ、健康的な食生活を営む力を養うとともに、「食育」に関連したインターネット等を通じて、「食」に関する知識を深めることができる。

NTTグループで連携し、「放課後子どもプラン」の実施を支援

「放課後子どもプラン」は、安倍政権が推進する教育再生会議の目玉政策だ。NTT Comでは、NTTグループで「放課後子どもプラン」の実施を支援するとともに、学校教育現場にも「インターネット子ども教室」の提案を積極的に行っていきたいとしている。

お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ(株)
第二法人営業本部 第二営業部
TEL：0120-730-699
E-mail：houkago@ntt.com